



岸和田市職労は4月5日に  
新規採用者歓迎会を開催

# いい仕事するために 力をあわせよう

いっしょに



「あなたの力が必要です」。各地で組合加入「仲間づくり」がすすんでいます  
(4月1日朝の中之島公会堂前)

新入職員のみなさん、就職おめでとうございます。昨年は自然災害がつづきました。どんな時も「地域のため、住民のために役に立つ仕事をしたい」というみなさんの思いは、だれもが元気に安心して働くことができる職場があつてこそ。先輩たちが築き上げてきた労働条件を、よりよくするために、働く仲間とつながり合うことが大切です。大阪自治労連に入って、働きがいのある職場をつくるために、一緒に力をあわせましょう！

吹田市関連職員労働組合 児童厚生員支部

松本 映子さん(左)  
清尾 幸代さん(右)  
(児童厚生員)



部屋あそび、外あそび、親子教室、子育て相談、何でもするのが児童厚生員です。親子や小学生ができるクラフトも見せてくれました

吹田市には11カ所の児童会館・児童センターがあります。児童福祉法第40条に基づく児童厚生施設で、0歳から小学生までの子どもが自由にあそんだり行事に参加しながら、心身の健全育成がはかられています。また、地域の子育て中の親子の交流や仲間づくりの場となっています。児童厚生員26年目の松本さんと5年目の清尾さんにお話しをききました。

# 子どもも親も 安心してできる居場所に

児童館は地域の  
あそび・子育ての拠点

午前中は就園前の子育て中の親子が来館。幼児教室やサークル活動への援助をしています。子育てが孤立化する中、地域の中で親同士のつながりをつくりたい、ママ友づくりのお手伝いをしていきます。図書室もあり、選書や貸し出しもしています。

午後からは、小学生も来館。集まった子たちでできるあそびを中心に、一輪車・なわとび、けん玉やコマなどをしていきます。コマのまわし方を知らない保護者もいるので、親子で楽しまれています。けん玉は、紅白歌合戦などの影響でブームになっています。毎月数回の行事もあり、親子ともに楽しくすごせるようにしています。

だれもが  
安心してできる居場所に

毎日開館のため、本日に毎日のように遊びに来る小学生も多



西山田児童センターは公園に隣接しており、センターの裏側からは公園の広場へ直接出入りできます

「たら安心してできる」居場所に見えるように心がけています。

児童厚生員としての  
責任を持てる  
身分と労働条件へ

児童センター自体は避難所になっていませんが、地域の身近な施設なので、昨年の地震や台風のと、不安になって親子で来られました。児童センターの職員は館長含め全員非正規ですが、災害時は「3号配備」に含まれていて、自分自身の安全を確保した上で駆けつけることになっていきます。それに見合った身分や研修が必要です。

非常勤職員の報酬上限や会計年度任用職員制度の問題があります。例年になく退職者が増えています。児童センターが地域のあそびや子育ての拠点になり、安全で安心な場所にするために、組合に入る人を増やして、安心して働き続けられる身分と労働条件にしていきたいです。

く、また父や祖父母との来館が増えています。持参したお弁当を楽しみ、朝から夕方まで過ごされる方もいます。信頼関係を築きながら、子育てのことなど何でも話せるように心がけています。ヨガ教室など、ママたちの要望にも応えられるようになっています。

今の子どもたちは携帯ゲームが身近にあり、それ以外のあそびを知らなかったり、集団であそぶ経験があまりないので、子ども同士の関わりや仲間づくりを大切にしています。とにかく、子どもも大人も「ここに来